

**製品名: NMUR1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14766**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	48kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NMUR1
別名	NMUR1; GPR66; Neuromedin-U receptor 1; NMU-R1; G-protein coupled receptor 66; G-protein coupled receptor FM-3
遺伝子 ID	10316.0
SwissProt ID	Q9HB89
免疫原	抗血清はヒト NMUR1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

**背景**

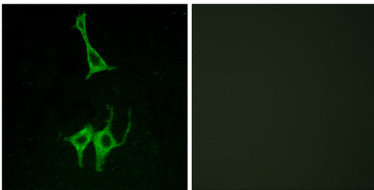
注意: Met-1 と Met-24 のどちらがイニシエーターであるかは不明です。機能: ニューロメジン U およびニューロメジン S 神経ペプ

チドの受容体。類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。組織特異性: 末梢臓器、特に消化管および泌尿生殖器系の構成要素に最も多く発現し、精巣で最も多く発現します。中枢神経系構造における発現レベルは、末梢臓器で見られるレベルよりもはるかに低いです。中枢神経系 (CNS) においては、小脳、後根神経節、海馬、脊髄に最も多く存在することが確認されています。注意: Met-1 と Met-24 のどちらがイニシエーターであるかは不明です。機能: ニューロメジンUおよびニューロメジンS神経ペプチドの受容体。類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。組織特異性: 末梢臓器、特に消化管および泌尿生殖器系の要素に最も多く発現し、精巣に最も多く存在します。中枢神経系構造における発現レベルは、末梢臓器で見られるレベルよりもはるかに低いです。中枢神経系 (CNS) においては、小脳、後根神経節、海馬、脊髄に最も多く存在することが確認されています。

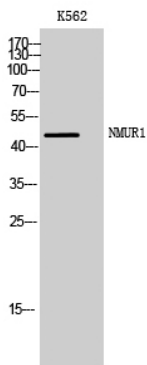
## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

## 画像データ



NMUR1 抗体を用いた LOVO 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



NMUR1 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析